

とうきょうすくわくプログラム 活動報告書

テーマ 音

テーマを設定する

音の不思議に触れる

環境をデザインする

○準備物

塩・黒ビニール・ボール・モール 紙コップ・毛糸・タコ糸
楽器（振動を感じられそうな楽器）

探求活動を実践する

○活動内容

音や声が伝わっていく実験の話の後体験してみる

◇子どもの様子

材料を見てどのような実験になるか興味を持ったものの音と声の話には理解が難しそうであった。実験を通して塩の動きが見えてくると面白い姿が出てきた。実験は変化が少ない中も色々な方法を試す姿が見られた。後半糸電話を作り、糸の種類や長さなど選ばせて作ってみた。年児長が使用した後、興味を示した年少児が興味を持ちやって来たので実験をやってみたところ盛り上がり参加していた。

園名	もりのおがわ保育園
期間	全6回（10月2回・11月4回・ 12月1回）
実践者	岡山理絵子
対象年齢人数	3歳から5歳7名



振り返り・気づき

振り返り

実験のような体験は積極的に参加していたが、参加者の中に何か不思議に感じたりする発言をする子供は見られず。活動を深い探求に繋げていく難しさを感じた。音と振動の関係を保育者側も理解していないので共に「何で動くのかな」など考える事は出来たが、次の向かう方向を見つけることが出来なかった。

反省・次回への課題

音の不思議は導入としてとらえて、次回は様々な楽器に触れどうやったらどんな音が出るのかを試して楽しみたい。